

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年8月10日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	1,853,166	1,941,978	7,932,702
経常利益(千円)	232,443	274,179	1,079,830
四半期(当期)純利益(千円)	79,570	160,764	553,609
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	72,919	145,562	548,416
純資産額(千円)	10,734,234	11,251,300	11,158,784
総資産額(千円)	14,525,379	15,291,869	15,320,655
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.83	15.82	54.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)			
自己資本比率(%)	72.2	72.0	71.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要など、一部に持ち直しの動きが見られましたものの、欧州債務問題の再燃や長期的な円高傾向などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、多様化する顧客のニーズに応える製品開発に注力し、環境対応型塗料の充実をはかり、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開するとともに、さらなる生産性の効率化により収益の改善に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、19億42百万円（前年同四半期比4.8%増加）となりました。また、収益面におきましても、営業利益は2億42百万円（前年同四半期比30.4%増加）、経常利益は2億74百万円（前年同四半期比18.0%増加）となり、四半期純利益は1億61百万円（前年同四半期比102.0%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は19億17百万円（前年同四半期比5.0%増加）、営業利益は2億34百万円（前年同四半期比32.9%増加）であります。

その他

売上高は25百万円（前年同四半期比6.3%減少）、営業利益は8百万円（前年同四半期比16.1%減少）であります。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は29百万円減少、負債は1億21百万円減少、純資産は93百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、有価証券5億円、長期預金2億円、減少の主なものは現金及び預金8億62百万円であります。

負債の増加の主なものは、未払金1億42百万円、減少の主なものは未払法人税等2億38百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金1億10百万円となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、29百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,754,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 118,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,754,000		1,754,000	14.62
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	170,000		170,000	1.41
計	-	1,924,000		1,924,000	16.03

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当第1四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,323,007	3,460,821
受取手形及び売掛金	2,603,941	2,615,547
有価証券	650,701	1,150,701
商品及び製品	852,446	948,155
仕掛品	80,441	110,253
原材料及び貯蔵品	189,484	214,581
繰延税金資産	88,801	43,356
その他	33,570	93,302
貸倒引当金	24,493	19,808
流動資産合計	8,797,898	8,616,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,409,927	2,409,927
減価償却累計額	1,196,865	1,214,483
建物及び構築物(純額)	1,213,062	1,195,444
機械及び装置	375,107	375,417
減価償却累計額	306,310	311,303
機械及び装置(純額)	68,797	64,114
工具、器具及び備品	358,978	359,207
減価償却累計額	328,160	330,739
工具、器具及び備品(純額)	30,818	28,468
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	17,047	12,857
減価償却累計額	14,849	11,107
リース資産(純額)	2,198	1,750
有形固定資産合計	2,659,342	2,634,243
無形固定資産		
ソフトウェア	109,282	102,180
施設利用権	6,790	6,560
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	148,007	136,451
無形固定資産合計	270,389	251,501
投資その他の資産		
投資有価証券	1,566,847	1,539,397
長期貸付金	168	140
長期預金	1,100,000	1,300,000
保険積立金	717,430	736,297
繰延税金資産	186,660	191,699
その他	24,115	23,878
貸倒引当金	2,194	2,194
投資その他の資産合計	3,593,026	3,789,217
固定資産合計	6,522,757	6,674,961
資産合計	15,320,655	15,291,869

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,609	1,783,110
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	50,252	50,179
未払金	280,740	423,162
未払法人税等	300,086	61,900
未払消費税等	16,957	29,834
前受金	4,359	4,359
預り金	70,440	79,136
賞与引当金	108,647	33,470
その他	39,666	31,144
流動負債合計	2,638,756	2,548,294
固定負債		
長期借入金	449,000	436,000
長期預り保証金	248,942	249,190
リース債務	107,669	95,125
退職給付引当金	500,699	491,427
役員退職慰労引当金	85,220	90,243
修繕引当金	30,000	32,500
負ののれん	75,219	72,326
金利スワップ	26,366	25,464
固定負債合計	1,523,115	1,492,275
負債合計	4,161,871	4,040,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	9,099,637	9,210,025
自己株式	709,199	709,411
株主資本合計	10,890,763	11,000,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,412	18,567
繰延ヘッジ損益	16,592	16,024
その他の包括利益累計額合計	19,820	2,543
少数株主持分	248,201	247,818
純資産合計	11,158,784	11,251,300
負債純資産合計	15,320,655	15,291,869

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	1,853,166	1,941,978
売上原価	1,193,109	1,194,021
売上総利益	660,057	747,957
販売費及び一般管理費	474,596	506,164
営業利益	185,461	241,793
営業外収益		
受取利息	2,179	1,369
有価証券利息	6,388	370
受取配当金	3,803	3,564
受取賃貸料	13,835	14,392
塗装情報サービス会費	4,977	3,244
負ののれん償却額	2,893	2,893
貸倒引当金戻入額	13,334	4,685
その他	4,585	6,439
営業外収益合計	51,994	36,956
営業外費用		
支払利息	4,636	4,165
その他	376	405
営業外費用合計	5,012	4,570
経常利益	232,443	274,179
特別損失		
災害による損失	3,934	-
特別損失合計	3,934	-
税金等調整前四半期純利益	228,509	274,179
法人税、住民税及び事業税	63,100	61,250
法人税等調整額	86,266	50,090
法人税等合計	149,366	111,340
少数株主損益調整前四半期純利益	79,143	162,839
少数株主利益	427	2,075
四半期純利益	79,570	160,764

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	79,143	162,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,303	17,845
繰延ヘッジ損益	79	568
その他の包括利益合計	6,224	17,277
四半期包括利益	72,919	145,562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,305	143,242
少数株主に係る四半期包括利益	387	2,320

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	194,414千円	173,596千円
支払手形	-千円	2,294千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	42,441千円	44,796千円
負ののれん償却額	2,893千円	2,893千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	51,226	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	1,826,682	26,484	1,853,166	-	1,853,166
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,826,682	26,484	1,853,166	-	1,853,166
セグメント利益	175,896	9,565	185,461	-	185,461

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	1,917,155	24,823	1,941,978	-	1,941,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,917,155	24,823	1,941,978	-	1,941,978
セグメント利益	233,764	8,029	241,793	-	241,793

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7.83円	15.82円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	79,570	160,764
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	79,570	160,764
普通株式の期中平均株式数(株)	10,164,813	10,162,686

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 9日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 田中 伸郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 加賀谷 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。